

2019年1月18日

## 「ステント血栓症発症後の長期予後に関する検討」

### 1. 研究の対象

2008年1月から2017年12月までに、ステント血栓症を発症し、緊急カテーテル検査を実施した患者さん。

ステント血栓症は、ステント留置後に急性冠症候群の所見（急性の虚血症状、虚血性心電図変化、心筋逸脱酵素の上昇のいずれか）があり、血管造影で血栓又は閉塞が確認された症例としています。

### 2. 研究目的・方法

「目的」：冠動脈狭窄または閉塞病変に対してステント留置を行った後に、ステント血栓症を発症した患者さんの長期予後を後ろ向きに検討することです。

「方法」：患者さんの診療情報を電子カルテから抽出し、予後調査を行います。さらに治療内容やステント留置時または、ステント血栓症発症時の画像情報より、ステント血栓症のメカニズムについて検討を行います。

「研究期間」2019年2月5日～2020年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、治療内容、検査情報 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は当センターの研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学講座

関西ろうさい病院 循環器内科

国立病院機構大阪医療センター 循環器内科

大阪警察病院循環器内科

大阪急性期・総合医療センター 心臓内科

大阪労災病院 循環器内科

西宮市立中央病院 循環器内科

市立豊中病院 循環器内科

市立東大阪医療センター 循環器内科

箕面市立病院 循環器内科

八尾市立病院 循環器内科

桜橋渡辺病院 循環器内科

（研究責任者：坂田泰史 大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学講座教授）

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター心臓内科

研究担当者：診療主任 菊池 篤志

（研究責任者：部長 森田 孝）

電話 06-6692-1201